

起因物（小）別コードno.224 コンベア労働災害発生状況

業種別コンベア労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業			25		40		36	29	31	31	27	32	24	25	26	23	16	15	23	15	26	26	25	495
010102 水産食 料品製 造業			59		52		53	45	53	53	51	41	43	43	47	39	52	43	40	49	39	29	45	876
010103 農業保 存食料 品製造 業			34		29		31	19	25	21	29	29	27	22	15	19	15	15	20	24	15	14	11	414
010104 パン、 菓子製			52		57		62	71	57	69	49	48	50	39	41	46	39	41	59	46	42	50	34	952

造業																								
010105 酒類製造業			16		10		9	12	10	9	5	7	11	8	2	3	6	3	4	6	7	1	4	133
010106 飲料 (酒類を除く)製造業			13		9		11	12	6	5	8	4	8	4	7	9	2	9	13	7	7	6	8	148
010109 その他の食品製造業			142		147		132	126	147	174	108	138	133	113	126	125	118	120	112	113	111	110	110	2,405
0101 食品製造業			341		344		334	314	329	362	277	299	296	254	264	264	248	246	271	260	247	236	237	5,423
010201 製糸業					1		1									1		1						4
010202 紡績業			2		2			2	1		2			2		1		1						13

0103 繊維製 品製造 業			3		3			4	5	1	4	2	1	2	6	2	2	2	4		1	2	2	46
010401 製材業			90		86		98	76	82	61	51	66	57	58	45	46	37	37	51	34	58	42	44	1,119
010402 合板製 造業			20		18		13	17	23	16	10	15	11	13	11	6	9	13	11	1	10	10	10	237
010409 その他 の木 材・木 製品製 造業			41		34		20	30	29	26	15	20	23	27	23	26	21	21	14	20	15	9	18	432
0104 木材・ 木製品 製造業			151		138		131	123	134	103	76	101	91	98	79	78	67	71	76	55	83	61	72	1,788
010501 木製家 具製造			6		2		2		4	1	7	1	1		4	1	4	5	1	1	3	1	2	46

業																								
010502 金属製 家具製 造業			1		2		1	1	3		1			1	1			2		1			14	
010503 建具製 造業			2				1		2		1											1	7	
010509 その他 の家 具・装 備品製 造業			1		1		2	3	4	2	1	2	1	1	1	2	2	1				1	25	
0105 家具・ 装備品 製造業			10		5		6	4	13	3	8	5	2	1	5	4	7	6	1	3	3	3	3	92
010601 パル プ・紙 製造業			10		6		5	13	9	12	8	9	5	6	7	4	4	9	5	4	2	3	6	127

品・石 炭製品 製造業			5		3		3	11	3	5	5	7	3	1	3	3	1	1	4	5	2	5	4	74
010805 プラス チック 製品製 造業			17		19		16	20	20	23	10	21	12	13	16	10	14	12	9	15	14	20	22	303
010806 ゴム製 品製造 業			7		12		7	9	9	13	4	5	5	5	8	1	7	4	1	5	10	6	8	126
010807 皮革・ 同製品 製造業			1				2		2			1		1	1									8
010808 塗料製 造業					1		1			1			1			1	1	1			1			8
010809 化学肥			6		8		6	4	4	6	7	6	4	6	4	3	5	8	6	3	5	5	3	99

関連製 品製造 業			17		7		5	6	11	13	6	8	6	6	6	6	4	5	8	2	6	2	6	130
010904 耐火物 製造業			2		2		2	2		1	2	2	2	4	2	6	4	2	3	2		1	1	40
010905 その他 の窯業			7		8		6	5	8	7	3	4	4	3	6	4	5	3	4	8	1	2	5	93
010909 その他 の土石 製品製 造業			37		28		33	32	36	21	30	32	25	24	22	20	24	20	21	10	18	19	18	470
0109 土石製 品製造 業			125		94		80	81	94	68	70	70	59	69	69	77	63	60	59	42	51	48	60	1,339
011001 製鉄・ 製鋼・			10		9		10	8	7	13	10	8	7	9	5	6	5	6	4	7	3	2	1	130

圧延業																								
011002 鋳物業			17		17		25	27	20	29	10	19	27	19	22	21	16	19	10	10	11	12	10	341
011009 その他の鉄鋼業			7		5		8	9	5	2	5	10	3	5	6	5	5	2	10	3	3	7	6	106
0110 鉄鋼業			34		31		43	44	32	44	25	37	37	33	33	32	26	27	24	20	17	21	17	577
011101 非鉄金属精練・圧延業			2		8		3	5	2	3	5	6	4	3	9	9	6	1	4	2	1	2	6	81
011102 非鉄金属鋳物業			6		5		3	1	1	2	4	4	1	1	7		1	2	3	2	4	1	3	51
011109 その他の非鉄金属製			4		3		4	2	4	1	2	3	4	2	3	1	2	3	4	1	2	4	2	51

械・レ ンズ製 造業			1						1		2											4		
011304 時計・ 同部品 製造業																								
011305 その他 の精密 機械器 具製造 業			3		5		3	5	4	4	1		1	2	3	1	1	2		2	1	7	45	
0113 機械器 具製造 業			31		29		26	24	29	26	24	25	14	20	13	19	12	13	11	16	10	11	18	371
011401 重電機 製造業					2		2	1		2			1	1		1		2	1			3	1	17
011402 軽電機			5		2		4	2	1	4	1	2	2		2	2	2		2	3	1		3	38

011603 水道業									1	1	2	2						1					2	9	
011609 その他 の電 気・ガ ス・水 道業																									5
0116 電気・ ガス・ 水道業			1		2		1		2	3	4	3	4	2	1	1	1	2	2	3	1		4	37	
011701 自動車 整備業							3	1		1					2	1				1		1		10	
011702 機械修 理業			2		4		3	3	1	1	1	4	2	4	4	2		3	3	3	1	2		43	
011703 クリー ニング 業			22		18		15	19	23	21	12	20	18	18	16	17	19	14	18	13	13	6	13	315	

030104	鐵道軌道建設工事業											1											1	
030105	橋梁建設工事業													1									1	
030106	道路建設工事業				2		2	1		1	1		2	3	1	2	2	2	2	2	1	1	2	27
030107	河川土木工事業		1				1					1		2							1	1	7	
030108	砂防工事業				1		1		1					1						1			5	
030109	土地整理土木		1		2			1	1		1		1			1			2		2	1	1	14

工事業																								
030110 上下水道 道工事業			1		2			1									1			1				6
030111 港湾海 岸工事業			1					1												1				3
030199 その他 の土木 工事業			9		10		5	6	6	11	4	3	3	4	5	4	2	4	2	8	3	4	2	95
0301 土木工 事業			13		20		14	10	8	12	7	5	7	10	7	7	4	9	8	14	7	9	6	177
030201 鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋			5		2			4	2	1		1	1	2		1		1	1		1		1	23

一般貨物自動車運送業			117		76		74	66	82	76	61	71	63	78	83	65	47	64	62	64	70	65	56	1,340
040302 特定貨物自動車運送業			3		3		2	4	5	3	1	1	1	4	2		1		2	2	1	1		36
040303 貨物軽自動車運送業					3				1	3		1		1	1		1					1		12
040309 その他の道路貨物運送業			1		2		2	1	5	3	1	1	1	1	1	1		2	2	1	1	2	3	31
0403 道路貨物運送業			121		84		78	71	93	85	63	74	65	84	87	66	49	66	66	67	72	69	59	1,419

湾運送業				1				2		1								1	1			6	
050202 港湾荷役業			1	5		5	3	2	4	4	4	3	4	3	4	4	3	5	3	3		5	65
050209 その他の港湾運送業			1				3									1				1			6
0502 港湾運送業			2	6		5	6	4	4	5	4	3	4	3	4	5	3	5	4	5		5	77
05 貨物取扱業			36	43		42	39	33	46	25	30	27	30	31	37	37	34	38	42	39	40	53	702
060101 農業			13	11		8	17	9	12	16	9	11	7	11	11	19	12	10	8	15	13	15	227
0601 農業			13	11		8	17	9	12	16	9	11	7	11	11	19	12	10	8	15	13	15	227
060201 木材伐出業			1					1				1		1	2	1	2	1	1	1		1	13

060209																							
その他 の林業		1				1			1	1				1		1	1		1		1		9
0602 林業		2				1		1	1	1		1		2	2	2	3	1	2	1	1	1	22
06 農林 業		15		11		9	17	10	13	17	9	12	7	13	13	21	15	11	10	16	14	16	249
070101 畜産業		26		23		16	25	19	22	11	31	25	21	29	28	19	19	21	16	12	17	21	401
0701 畜産業		26		23		16	25	19	22	11	31	25	21	29	28	19	19	21	16	12	17	21	401
070201 漁業		5		1		1	1	1		2		2	1	3							1		18
070209 その他 の水産 業		4		1		3	3	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	4		2	1	33
0702 水産業		9		2		4	4	3	2	3	2	3	2	4	1	1	1	2	4		3	1	51
07 畜 産・水		35		25		20	29	22	24	14	33	28	23	33	29	20	20	23	20	12	20	22	452

130309																			1			1		
その他 の保健 衛生業 －その 他																								
1303											1			1					1			3		
その他 の保健 衛生業																								
13 保健 衛生業			3		1		5	3	4	1	3	2	1	3	2	2	2		3	2	5	1	2	45
140101					2								1				1						4	
旅館業																								
1401					2								1				1						4	
旅館業																								
140201			4		4		2	1	5	3	2	1	8	2	4	4		3	3	8		1	3	58
一般飲 食店																								
140209																								
その他			1		2		4	2	1	2	1	1	2	3	2		2	1				1		25

の飲食 店																								
1402 飲食店			5		6		6	3	6	5	3	2	10	5	6	4	2	4	3	8	1	1	3	83
140301 ゴルフ 場			2				2	1	2	2	1	3	1				2	1	2				3	22
140302 公園・ 遊園地					1			1				1				1		1	1	1				7
140309 その他 の接客 娯楽業 ーその 他			6		5		3	2	1	7	8	3	3	4		1	2	1	3	2	2	2	1	56
1403 その他 の接客 娯楽業			8		6		5	4	3	9	9	7	4	4		2	4	2	6	3	3	2	4	85
14 接客 娯楽業			13		14		11	7	9	14	12	9	15	9	6	6	7	6	9	11	4	3	7	172

011204 めっき業																								
011209 その他の金属製品製造業	1					1		1													1	5		
0112 金属製品製造業	1					1		1													1	5		
011301 機械 (精密機械を除く) 器具製造業			1	2												2					1	6		
011302 計量器測定器製造業		1																				1		
011303 光学機械・レンズ製造業																								
011304 時計・同部品製造業																								
011305 その他の精密機械器具製造業																						1	1	
0113 機械器具製造業		1	1	2												2						1	1	8

04 運輸交通業	1	2					1	1				1									6	
050101 陸上貨物取扱業																	1				1	2
0501 陸上貨物取扱業																	1				1	2
050201 一般港湾運送業																						
050202 港湾荷役業									1		1	1				1	1	1				6
050209 その他の港湾運送業																						
0502 港湾運送業									1		1	1				1	1	1				6
05 貨物取扱業									1		1	1				1	2	1			1	8
060101 農業																						
0601 農業																						
060201 木材伐出業																	1					1
060209 その他の林業																						
0602 林業																	1					1
06 農林業																	1					1

170101 派遣業		1																					1	
1701 派遣業		1																					1	
170201 警備業																								
170202 情報処 理サービス業																								
170209 その他																								
1702 その他の事 業																								
17 その他の事業		1																					1	
0 全産業	21	25	10	16	16	20	11	17	23	13	13	14	8	15	10	15	9	15	17	17	8	11	10	334

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

コンベアを起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規

					ド	模
2012	2	10 ～ 11	リングバーカーを用いてカラマツの皮むきを行っていたところ、規格外の寸法でリングバーカーに入らなかったカラマツを送り装置をリバースさせて送り装置の端部から落下させたところ、送り装置下部に溜まっていたカラマツの皮を集めていた被災者に激突した。	10401	4	30 ～ 49
2012	6	18 ～ 19	砕石プラントの保守作業中、稼働しているベルトコンベアに上半身を挟まれ死亡した。	20202	7	30 ～ 49
2012	1	13 ～ 14	被災者は圧延・切断した数十本の鉄筋の端部を揃え、その鉄筋を結束機に運搬するコンベア機械の動作確認を行う作業を行っていた。その際、鉄筋をコンベアから別のコンベアに異動させる箇所に不具合を発見し、コンベア機械の動力を停止させず点検していたところ、機械が急に動き出し、機械のシャフトとコンベアの間胸部が挟まれ死亡した。	11001	7	100 ～ 299
2012	1	10 ～ 11	被災者はコンベアと当該コンベアの上方に設置されたモーター架台との間に挟まれ、そのままその隙間をコンベアで運搬され、コンベアの折り返しとなる排出口付近でうずくまるような形で発見された。	11209	7	10 ～ 29
2012	3	11 ～ 12	ゴミ焼却施設の清掃作業に従事していた被災者は、排ガス処理のためのろ過式集じん機の下部を清掃中、灰出し用のスクリーコンベアに両足を巻き込まれ、両足を切断、出血多量により死亡した。	150109	7	10 ～ 29
2012	1	14 ～ 15	被災者はコンベヤー上に残った木材を排出するため、コンベヤーとコンベヤーの間（約30cm）に入って作業をしていたところ、被災者の後方のコンベヤーが稼働し、被災者の体が当該コンベヤー上にあった木材（4.90m×1.16m×0.68m、約2t）と被災者の前方のコンベヤーのローラーとの間に挟まれた。	10401	7	100 ～ 299
2012	10	8 ～	被災者は産業廃棄物中間処理施設であるリサイクルプラント内で、リサイクルプラントを起動させる作業に従事していた。当該プラントの異常ランプが点灯しているのを代表者が発見し、プラント内を確認したところ、ベルトコンベアに挟まれている	150102	7	1～ 9

		9	被災者が発見された。			
2012	1	17 ～ 18	鑄造工場において、鑄造機、パンチアウトの機械設備から、下方に落ちた砂をストレージに運搬する地下ピット内のコンベア（コンベア幅40cm、被災個所の高さは地面から8cm）において、被災者は右手からコンベアに巻き込まれ、死亡した。	11002	7	30 ～ 49
2012	10	3 ～ 4	事業所岸壁に、石炭の荷揚げのため接岸していた運搬船の船倉の石炭をベルトコンベアで陸上の貯炭場に供給中、当該コンベアのベルトとローラーの間に挟まれている被災者が発見された。	40102	7	50 ～ 99
2012	5	16 ～ 17	工場内において、作業終了後、コンベアの電灯が消えていないことに気付いた労働者が、電灯を消すためにスイッチのところに行った際、当該コンベアの脇に倒れていた被災者を発見した。なお、当該コンベアは、発見者が被災者を発見する前に、別の労働者が終業後も稼働していること気づき停止させていたが、通常は被災者が当該コンベアを停止させる役割であった。	11002	7	100 ～ 299
2012	1	16 ～ 17	被災者はセメントを搬送するバケットコンベアのモーター部のチェーンが切れ、ピット及びバケットコンベア内の下部にセメントが溜まっていることを確認した。そのため、被災者が点検口からバケットコンベア内に入り溜まっているセメントの除去作業中、バケットと側壁の間（約15cm）に胸部を挟まれ、窒息死した。	30302	7	1～ 9
2012	5	10 ～ 11	ベルトコンベヤー上方に設けられたシュートを補修するため、被災者ら2名がコンベヤーの上に乗し、シュートを補修していたところ、別の労働者がコンベヤーを起動させ、被災者がコンベヤーに巻き込まれた。	50202	7	300 ～
2012	6	17 ～ 18	RDF（ごみ固形燃料）化施設において、ベルトコンベアを覆う金属製カバーの点検口で、コンベアを回転させるドラムと底板の間に、被災者が上半身をはさまれた状態で発見され、救急搬送された病院で死亡した。なお、被災者は、点検口の扉を開けてコンベアのドラム部分に溜まったごみを手鍵棒で取り除く作業を行っていた。	150103	7	10 ～ 29
2012	11	11 ～ 12	ベルトコンベアのプーリー取替作業に際して、被災者は指示されたベルトコンベアにかかるテンションウエイトを緩めるため、玉掛作業を行っていたところ、突然ベルトコンベアが動き出し、被災者はウエイトとプーリーとのすき間（約20cm）に体を巻き込まれた。	11702	7	1～ 9

2012	8	13 ～ 14	火力発電所内にある整粒室建屋の石炭サンプリング設備の運転状況を確認するため構内を単独で巡回中、4階の設備の点検口付近において被災者の上半身が設備内を走行してきたサンプリング装置の受け皿部分と設備内側の壁の間に挟まれているのが発見された。なお、被災者発見時に通常点検口付近に置いてある清掃棒が設備の内部にあった。	150101	7	50 ～ 99
2013	6	10 ～ 11	被災者は、洗浄ガン（長さ約1m）を用いて、ほたての搬送コンベアのベルト部分の洗浄作業に単独で従事していた。同僚が被災者が働く工場に入ったところ、コンベアの回転軸に巻き込まれている被災者を発見した。直ちにコンベアを止め、救急車を要請したが、窒息により死亡が確認された。	10102	7	50 ～ 99
2013	10	13 ～ 14	被災者は、砂利プラントでコンベヤーの監視業務を行っていたところ、コンベヤーのベルトとローラーの間に上半身を巻き込まれた状態で発見された。	20202	7	1～ 9
2013	10	4 ～ 5	炊飯ライン（全自動）において、水平搬送コンベア上で炊飯釜に入った生米、水等を混ぜ、蓋を乗せる工程箇所では当該蓋がコンベアの下に落ちてしまったため、被災者は、次工程の垂直搬送コンベアの覆いの隙間から上半身を中に入れ、当該蓋を取ろうとしていたところ、垂直搬送コンベアが下がってきて、水平、垂直のコンベアの間で胸部を挟まれたことによる心破裂で死亡した。	10109	7	300 ～ 499
2013	9	2 ～ 3	被災者は、廃プラスチック等を原料とするリサイクル燃料の製造ライン（RPFライン）の機械操作を担当するオペレーター（夜勤者）であった。災害発生時、当該機械の異常を知らせるアラームが鳴り止まないことに気が付いた社員が現場責任者に報告し、現場責任者が確認したところ、同機械のコンベア部の側面ハッチが開放しており、コンベアの内部に身体全身が巻き込まれた状態の被災者を発見した。	150102	7	30 ～ 49
2013	9	6 ～ 7	被災者は、製造ラインにある上下2段コンベアとコンベア端部に取り付けられている回転ブラシを稼働させながら、回転ブラシ（コンベアベルトの搬送面を清掃するためのもの）の清掃作業をしていたところ、下段コンベアと回転ブラシとの間に右腕及び胸部を巻き込まれ、意識不明の状態で見つかる場所を出勤してきた同僚に発見された。	10806	7	100 ～ 299
		10	不要となった段ボール箱をベルトコンベヤーにより集積する作業において、ベルトコンベヤー上で空段ボールが詰まったた			100

2013	1	11	め、被災者は、運転したままのベルトコンベヤー上でその詰まりを取り除いていたところ体勢を崩し、その先にある空段ポールを圧縮する箇所（ベルトコンベヤーとの間隔すき間6 c m）に全身が巻き込まれた。	11709	7	～ 299
2013	9	12 ～ 13	木片を破碎するラインの「フライトコンベヤー」で詰まりが発生したため、被災者と同僚労働者は木屑を取り除いていた。同僚労働者が同コンベヤーの上端の木屑を取り除き、地上に下りて制御盤の起動スイッチを押したが、同コンベヤーが動かなかったため、再度同コンベヤーの上部の木屑を取り除いた後、制御盤まで移動している途中で、同コンベヤーの下端で身体を巻き込まれている被災者を発見した。	10409	7	1～ 9
2013	10	4 ～ 5	被災者は、他の2人とともに工場の運転業務（設備の見回り、重機の運転）に従事していたが、ベルトコンベアのテール部のベルトが偏っていることに気づき、運転室に連絡した後、一人で、運転中のコンベアの柵を外し、ベルトの間に体を入れてヘラでプーリーの付着物を削ぎ落とそうとしたところ、ベルトとプーリーの間で左腕と左足を巻き込まれた。	11009	7	100 ～ 299
2013	12	14 ～ 15	砕石プラントにおいて、クラッシャーの点検を一人で行っていた被災者は、クラッシャー下部にある運転中のベルトコンベアのローラー部分（直径50 c m）に巻き込まれた。	20201	7	10 ～ 29
2013	4	11 ～ 12	コンクリート工場建屋内において、雨のため原材料を運搬するゴムベルトコンベヤーの送給に不具合が生じ、コンベヤーを稼働させた状態で被災者がドライブ（ヘッド）プーリーに滑り止めを塗布していた際、当該プーリー部分に左腕を巻き込まれたと推測される。	10901	7	1～ 9
2014	12	12 ～ 13	雑炭処理用ベルトコンベヤーの外柵及び内柵を被災者が取り外し、ベルトコンベヤーのリターンローラー付近で作業を行っていたところ、腕をリターンローラーに巻き込まれ、胸部外傷性圧迫により死亡した。	11001	7	100 ～ 299
2014	12	0 ～ 1	廃土の再生処理工場にて、ベルトコンベア周りの清掃作業中、コンベアのテールプーリーの回転軸に衣服を巻き込まれ、死亡した。	10909	7	100 ～ 299
			石炭輸送用設備（ベルトコンベア）のベルトの張力を調整する調整装置のガイドパイプ交換作業中、ベルトの張力を保つた			

2014	11	14 ～ 15	めのウェートを収納する装置（グラビティ）がガイドパイプ幅に収まらなかったため、グラビティに取付けてあるガイドの一部を溶断で取外したところ、グラビティが崩壊し、グラビティの脇で溶断の火を確認していた被災者がウェートの下敷きになった。	11001	5	10 ～ 29
2014	11	4 ～ 5	鑄物工場にて、砂回収ベルトコンベヤーに身体を巻き込まれ、死亡した。	11502	7	100 ～ 299
2014	11	2 ～ 3	バルクデパレタイザー（自動搬送機）の自動運転中、インターロックがしてある2か所の扉を解除せず、緊急停止ボタンも押さず、安全柵の中に入り込んだところ、デパレタイザーの上部から降下してきたアームとセンサーの間に頭部をはさまれ、死亡した。	11709	7	50 ～ 99
2014	7	23 ～ 24	生産ライン下部に位置するベルトコンベアとローラーに巻き込まれた状態の被災者が発見された。	10904	7	100 ～ 299
2014	6	7 ～ 8	ベルトコンベアーのローラーの付着物をハンマーで叩き落としていたところ、動いていたベルトコンベアーのローラーとベルトの間にはさまれた。	11101	7	100 ～ 299
2014	5	14 ～ 15	コンベアの上に乗り作業中、コンベアの上に設置している磁選機とコンベアの間でうつぶせになって倒れている被災者が発見された。	150102	7	1～ 9
2014	5	22 ～ 23	被災者は、破碎設備投入材料搬送用平コンベアのリターンローラーに付着した粉を、ワイヤブラシで清掃中、ブラシとともに腕から胸にかけ巻き込まれ、死亡した。	150102	7	10 ～ 29

2014	4	9 ～ 10	ベルトコンベアの周辺にて、散在している古紙を清掃中、コンベアの架台下に立ち入ったところ、コンベアの搬送ベルトが頭部に引っかかり、ベルトと地面の隙間に頸部を挟まれた。	10609	7	1～ 9
2014	4	13 ～ 14	砕石プラント操作室にて、ベルトコンベヤーの稼働状況を監視していた際、異常表示を確認し、コンベヤーの確認に行ったところ、ベルトとプーリーとの間に上半身を挟まれた被災者を発見した。	20201	7	10 ～ 29
2014	2	10 ～ 11	被災者は、衣類等のクリーニングを行うラインにおいて、2階に洗濯物を運ぶためのコンベアリフトでセンサーエラーが出たため、復旧作業を行っていたところ、エラー解除後コンベアリフトが動き出し、3段になっているコンベアの2段目とコンベアリフトに頭部が挟まれ被災した。	11703	7	50 ～ 99
2014	2	22 ～ 23	被災者は、砂利プラントにて単独で高速道路用骨材（40ミリ角の石材）の製造を行っていた。その後、連絡が取れないため被災者を探しに来た同僚労働者が、ベルトコンベアのベルトとフレームに足を挟まれ、宙づりになった被災者を発見した。	10909	7	10 ～ 29
2014	2	13 ～ 14	砂等を運ぶベルトコンベアの台座交換作業を行っていた被災者は、ベルトコンベアと原料引出しゲートの間に挟まれた。	10909	7	10 ～ 29
2014	1	16 ～ 17	被災者は、間伐材および廃木材を製紙用木材チップにするための破碎機の投入コンベア横で、原料から金属片などを取り除く作業に従事していたが、何らかの理由で同僚にコンベアを停止するよう指示し、破碎機下部のフライトコンベヤーに向かった。その後しばらくして、被災者が心肺停止状態でフライトコンベアで運ばれてくるのを発見した。	10401	7	10 ～ 29
2015	9	20 ～ 21	原料（石灰石）を運搬するベルトコンベアを清掃中、当該コンベアに全身を巻き込まれたもの。ハンマーを使用してコンベアを叩く等により原料を落として掃く等の作業で、本来は電源を切ってから行う作業とされていたが、被災者発見時にコンベアが動いていたこと並びに遺体の損壊状況から、被災者はコンベアを動かしながら清掃していたものと考えられる。	10801	7	10 ～ 29
			コンクリートの再生砕石を製造する機械の固定式ベルトコンベアにトラブルが生じたため、被災者と同僚の2人で補修を行			

2015	7	8 ～ 9	い、補修が完了したので機械を再稼働し、同僚は元いた作業場所へ戻ったが、被災者は固定式ベルトコンベアの下部区域に行った。被災者の戻りが遅かったので行ってみると、駆動ローラー部分に右腕を巻き込まれ、右腕を切断された状態で発見された。受傷後、病院で治療中であったが8月20日に死亡した。	10909	7	10 ～ 29
2015	5	15 ～ 16	粒剤製造部門の工場前にあるモルタル舗装された場所において、被災者は、一人で移動式傾斜ベルトコンベヤー（長さ3.5メートル×幅0.8メートル×高さ2.1メートル、重量272キログラム、車輪付き）の水洗作業を行った後、当該コンベヤーを保管場所まで移動させるため、一人でアスファルト舗装の構内道路上を人力で押していたところ、当該コンベヤーが横倒しになり、その下敷きとなって被災したものの。	10899	6	30 ～ 49
2015	8	14 ～ 15	木材破砕処理施設の点検・掃除を被災者が単独で行っていた。終業時刻を過ぎても見当たらないため同僚が捜していたところ、破砕機の投入ベルトコンベヤーが逆回転を続けていて、破砕機下部の別のベルトコンベヤー（停止）上で倒れている被災者を発見した。被災者は頭部挫滅により死亡した。	150102	7	50 ～ 99
2015	10	11 ～ 12	砕いた建築廃材を搬送するベルトコンベア上から廃材を選別する作業に被災者を含む複数名が従事していた。一旦停止させていたコンベアを再稼働させた直後、被災者はベルトコンベアの下部にあるベルト折り返しのプーリー部に巻き込まれたもの。	150102	7	10 ～ 29
2015	3	12 ～ 13	造形ラインに鋳物砂を供給するベルトコンベヤーの下部にあるシュート（砂受け台）に載り作業をしていたところ、ベルトコンベヤーのベルトとローラー（テンション用プーリー）の間に全身を挟まれたもの。被災時は、ベルトコンベヤーは稼働中であつた。	11502	7	100 ～ 299
2015	2	11 ～ 12	プラント内コンベヤー（ベルト幅110センチメートル、プーリー直径27センチメートル）の巡視中にプーリーに巻き込まれたもの。約3メートル下の雪面に落下していた状態で発見された。被災者の周りに曲げられた状態の金づち、角材（長さ60センチ）が落ちていたことから、プーリーもしくはコンベヤーに付着した泥等を取り除くため、コンベヤーが稼働している状態で角材等がプーリーに接触したものと推定される。	20201	7	10 ～ 29
		8	コンクリートガラを破砕する破砕機に附属するベルトコンベヤーのロール部付近で倒れているところを他の労働者に発見され			

2015	6	9	たもの。被災者は病院に搬送されるも、外傷性ショックによる死亡が確認された。発見時、当該コンベヤーは運転中で、被災者の傍らには、折損したスクレパー（ロールに付着したゴミを取除くための用具）が落ちていた。なお、当該コンベヤーのロール部付近に非常停止装置は設けられていなく、覆い等もない。	150102	7	1 9
2015	2	10 11	木の廃材から堆肥を製造する過程で使用する、破碎した木のチップを運搬するベルトコンベアのエンドローラーに溜まったゴミ（湿ったチップ、泥等）を除去するため、機械を止めずに治具（木片）をエンドローラーに当て掃除していたところ、治具及び右腕がエンドローラーとベルトの間に巻き込まれ、この結果、胸部がベルトコンベアの枠で圧迫され、同日22時23分に胸部圧迫により窒息死した。	11709	7	10 29
2016	12	17 18	災害発生場所は産業廃棄物処理プラントの集塵機で、下部に集積した塵埃を排出口に送り込む2本のスクリュウコンベヤがある。被災者は機器の異常に対処するため単独で作業中、当該スクリュウコンベヤに巻き込まれた。	150102	7	50 99
2016	11	16 17	鋳物の型に使用する砂を送るベルトコンベヤーのローラーとベルトに被災者の上半身が巻き込まれ死亡した。	11301	7	50 99
2016	11	15 16	工場3階のカットパンの製造ラインのうち、当該パンをオープンで加熱した後の冷却室に設置された上り傾斜したベルトコンベアの上側のプーリー箇所の清掃作業において、被災者は頭部、右腕、右肩、胸部箇所を、当該プーリーとベルトとの間に巻き込まれ即死した。	10104	7	100 299
2016	9	16 17	事業場敷地内の木材破碎プラントにおいて、投入コンベアの周囲で労働者3名が選別作業を行っていた。3名は、小休憩をすするため、2名が投入コンベアの周囲から離れたが、そのとき被災者が行方不明となった。15分程度周辺を探したところ、破碎された廃材の中からヘルメットの一部が発見された。その後、プラント内の様々な箇所から被災者の体の一部が発見された。	10401	7	10 29
		8	原料コンベヤーのベルトが縦に裂けたため、コンベヤー上の原料及びコンベヤー下に堆積した原料の掻き出し作業を2箇所で行っていた。コンベヤー上の原料を出すにあたり、ベルトに切り込みを入れながら作業していたところ、ベルトが破断した。			10

2016	8	8 9	これによりコンベヤーにテンションをかけていたウエイトが落下し、付近で堆積した原料の掻き出し作業をしていた被災者に接触した。	50202	4	～ 29
2016	8	18 ～ 19	被災者は、工場内の木材チップ搬送用コンベアの下で木屑の清掃をしていたところ、持っていたレーキ（トンボ）と共に右上半身がベルトコンベアを送る回転軸に巻き込まれ、首の骨を折り死亡した。	10401	7	1～ 9
2016	7	9 ～ 10	リングバーカの操作を担当する被災者が、リングバーカ下部に設置された、加工作業により発生した木くずを搬送するベルトコンベアのベルト（ゴム製）とローラーの間に、右手から右胸部付近にかけて挟まれた。	10401	7	30 ～ 49
2016	5	11 ～ 12	製材工場に納入した帯のこ式自動製材機械が不調のため、出張して朝から製材工場の労働者と被災者で当該機械の調整を行っていた。11時40分頃に調整作業を終了し、試運転のため同労働者が、当該機械で製材した木材を仕分けする自動搬送機のスイッチを入れた後、10分程度経過した時に同労働者が、その自動搬送機に挟まれている被災者を発見。	11301	7	10 ～ 29
2016	4	11 ～ 12	被災者は、碎石工場において、ベルトコンベヤーの巡視、点検等を行う作業員である。被災当日、被災者は、ベルトコンベヤー付近で、左腕が切断した状態で倒れているところを同僚に発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。切断した左腕は、ベルトコンベヤーの回転軸付近に挟まっていた。	20201	7	30 ～ 49
2016	4	11 ～ 12	3名の作業員の共同作業により、木材加工用機械6台を自動コンベアで連結する製材加工機械ラインのメンテナンス補修作業中、エア漏れしていたコンベア内のエア電磁弁を交換する際、操作盤のパソコン操作により、交換箇所横のコンベア部分を移動させ、移動させた箇所に入り交換作業を見ていた作業員が、戻ってきたコンベアに頭部を挟まれ、死亡した。	10401	7	50 ～ 99
2016	4	14 ～ 15	製品を倉庫へ搬送するコンベヤの、不良品等を選別し別のコンベヤに送る箇所（床面から高さ2.68メートルのステージ上に設置）で、製品詰まりが発生した。被災者は梯子で当該ステージに登り、詰まっていた製品のうち1つを引き抜いたところ、製品詰まりのため作動途中で止まっていたプッシャー（選別した製品を別のコンベヤに押し出す装置）が再び作動して他の製品と共に被災者を押し、被災者はステージから床面に墜落した。	10602	6	100 ～ 299

2016	2	11 ～ 12	採石工場のプラントにおいて、被災者は採石を運搬するコンベアヤーの巡回作業を行っていたところ、コンベアヤー端部の回転軸に作業服が巻き込まれた状態で発見され、その後、死亡が確認された。	10909	7	10 ～ 29
2016	2	8 ～ 9	船舶から紛体を荷揚げする機械、関連設備の解体工事を行っていた。荷揚げ機械のアーム先端にピン構造で取り付けられたスクリュコンベアヤーの解体準備作業（電気ケーブル等の除去）をしていたとき、何らかの理由でスクリュコンベアヤーが自重により旋回して、準備作業していた被災者がアームとスクリュコンベアヤーとの間に挟まれた。	30309	7	10 ～ 29
2016	2	21 ～ 22	派遣労働者である被災者は、飲料製造過程で発生する残さを貯蔵庫に排出するコンベアヤーの洗浄後、洗浄状況を点検口から確認中に左手をコンベアヤーに巻き込まれ死亡した。	10106	7	100 ～ 299
2016	2	9 ～ 10	チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベアのテールローラー部に巻き込まれた。	11709	7	30 ～ 49
2017	12	10 ～ 11	豚舎内で豚の糞尿処理作業を行っていた被災者が、糞尿を豚舎外へ搬出するためのスクリュコンベア（奥行き0.3メートルの側溝内に埋め込まれた径約0.27メートルのスクリュコンベア）に巻き込まれ、死亡した状態で発見された。	70101	7	10 ～ 29
2017	12	10 ～ 11	と畜場において、一部加工された枝肉を冷蔵庫からトラックに積み込む際に使用する枝肉搬入コンベアの先端部のベルトプリー一部に、被災者が着用していたヤッケの一部が巻き込まれ、宙づりで頸部を圧迫された状態で発見された。	50101	7	10 ～ 29
2017	10	10 ～ 11	砕石プラントにおいて、被災者がプラントのベルトコンベア付近で調整作業を行っていたところ、被災者がコンベアヤーの回転軸に右腕の衣服が巻き込まれて右腕を切断、左腕も挟まれた状態で倒れている被災者を別の労働者が発見した。なお、被災者は単独作業であったため、災害発生時刻は不明で、別の労働者が被災者を発見したときは心肺停止であった。	20201	7	1～ 9
		10				10

2017	9	11	アスファルトの製造プラントにおいて、一人で清掃・点検補修作業をしていた被災者がベルトコンベアとホッパーに固定された飛散防止用のゴムカバーの間に首が挟まれた状態で発見された。	10804	7	～ 29
2017	9	11	チップ工場において、木材をベルトコンベアを介してチップパーに自動投入する作業中、チップパー投入口付近のベルトコンベアとチェーンコンベアの間（約5cm）に被災者の足から腰部までが挟まれ、被災者は出血多量で死亡した。ベルトコンベアに囲い、覆い等を設けておらず、非常停止装置が手の届く位置になかった。	60201	7	50 ～ 99
2017	9	3	精選棟（産業廃棄物の選別・破碎等を行う処理施設）に設置されているコンベアについて、工事業者による修理作業が行われていた。修理作業が終わり、試運転させたところ、異音が発生した。直ちに停止させて周辺を確認したところ、近隣でコンベア部品の加工作業をしていた発注者の作業員が、当該コンベアに巻き込まれた状態で発見された。	150102	7	50 ～ 99
2017	8	17	被災者が、高さ約4メートルの既存ステージから、壁補修用の足場3層目（高さ約4.2メートル）に移動する際、スクレーパーコンベア（上面高さ約4メートル、）内に落下し、巻き込まれた。	30201	7	1～ 9
2017	8	9	セメント骨材を混合するベルトコンベアの下に落ちた骨材（砂、砂利）を掻き出し、掃除をしていたところ駆動していたベルトコンベアに巻き込まれた。	10901	7	10 ～ 29
2017	7	11	道路工事等で使用される碎石を製造するプラントにおいて、碎石を運搬するベルトコンベアの回転軸とベルトとの間に上半身が巻き込まれた状態で発見された。	10909	7	1～ 9
2017	6	13	揚炭機（アンローダー）機内コンベアのプーリーとベルトの間に頭部等を巻き込まれ死亡した。一人作業であり、災害発生状況を見た者はいないが、コンベア清掃用具と一緒に巻き込まれていたことから、コンベアの清掃作業中に巻き込まれた可能性がある。	50202	7	30 ～ 49
		8	被災者が、ベルトコンベア稼働中にスクレーパーを使用してプーリーに付着したカスの除去作業を行っていたところ、ベルト			10

2017	6	9	とプーリーの間に巻き込まれた。	11101	7	7	29
2017	5	10	被災者他2名で設備の撤去工事中、パレットリフター（製造ラインから流れてきた製品を上下する機械）を撤去するため、パ	30309	4	4	10
		11	レットリフター下部の空間（ピット内）に被災者が入り、昇降用モーターのチェーンを溶断していたところ、パレットリフ				29
2017	4	10	工場において、中間切断機を用いて、鋼管の切断作業を行っていた行程で事故が発生した。鋼管を中間切断機に送り出すロー	11001	6	6	300
		11	ラコンベヤが停止するセンサーに異常が発生した。ローラコンベヤの電源を切らずに立入り禁止区域内に立入り、ローラコン				～
			ベヤのセンサーの調整作業をしていたところ、センサーが回復し、ローラコンベヤが動き出し、労働者は、背後から搬送され				
			てきた5. 2 tの鋼管に激突され、病院搬送後に死亡。				
2017	3	14	被災者は、鋳物砂を搬送する大型のベルトコンベアー付近において、ベルトコンベアー外に落下して堆積した鋳物砂をホース	11002	7	7	50
		15	で吸引し、回収する作業を行っていたところ、安全カバーが外され露出していたベルトコンベアーの回転軸にホースとともに				～
			巻き込まれ、死亡した。				99
2017	2	14	電気工事会社が町内で施工する電柱建替工事の応援に行くため、事業場から作業場に向けて高所作業車を1人で運転し、国道	20202	1	1	1～
		15	（片側1車線）を走行していたところ、吹雪のため減速運転していた大型トラック（箱車）に追突し、同日死亡した。				9
2017	1	14	一般住宅の廃材等（木材）をチップにする工場内において、ベルトコンベアー上を流れてきた粉碎された木屑から、木材以外	150102	7	7	10
		15	の鉄屑やプラスチック等を手選別により選別していた被災者が、選別箇所のコンベアーに送り出される直前の供給機のロー				～
			ラーに右腕を巻き込まれた。				29
2017	1	16	ベルトコンベアのベルト交換作業を4名で行っていた。被災者等は、ベルトコンベアを稼働させた状態でスナップローラーに	11709	7	7	1～
		17	付着した泥等をハンマーで叩いて取り除いていたところ、被災者が左腕から胸部までをスナップローラーとベルトに巻き込ま				9
			れ、死亡した。				
		14	災害発生現場において、元請事業場の労働者2名がAタンク内の飼料の清掃作業に従事していた。Aタンクに隣接したBタン				10

2018	12	15	クの清掃作業を終えた被災者が来て、スクリーコンベヤーを稼働させたままタンク内に立ち入り清掃作業を行おうとしたところ、スクリーコンベヤーに巻き込まれて被災したものの。	10109	7	7	29
2018	12	9	8 ペットボトル選別作業場内にあるスクリーコンベアに挟まれている被災者を同僚が発見したもの	11709	7	7	1～ 9
2018	12	11	10 工場に設置されているスクリーコンベヤー付近の清掃作業中、不意に動き出したスクリーコンベヤーに両大腿部付近まで巻き込まれた。	10901	7	7	1～ 9
2018	11	13	12 牛用飼料の製造・梱包・出荷を行うセンター内において、エアブローを使用して、被災者がベルトコンベヤのローラー周辺の掃除作業を行っていた時、同機械を停止させずに掃除作業を行い、回転するベルトコンベヤのローラーとコンベアベルトの間に両腕を挟まれ、出血死したもの。	11709	7	7	50 ～ 99
2018	11	9	8 スタッカーコンベアにおいて、コンベアの水洗作業中、コンベアとの接触防止用の柵を乗り越え、コンベア上に立ち入っていた被災者が、間欠起動したコンベアに巻き込まれた。	11001	7	7	50 ～ 99
2018	10	9	8 精錬工場の定期修繕工事において、スクリーコンベアのスクリー交換の前処理として同コンベアのホッパー内の異物除去作業を行っていたところ、同コンベアが起動してスクリーに巻き込まれたもの。	30302	7	7	1～ 9
2018	7	5	4 フィルムロールを梱包するラインにおいて、コンベアと倒立機（コンベアで運搬されたフィルムロールを立て起こす機械）との間に被災労働者が頭から胸部にかけて挟まれたもの。災害発生後は脳死状態であったが、後日死亡判断が下された。	10805	7	7	300 ～ 499
		8	コンクリートブロック生成機の、材料を貯蔵・区分するサイロの上部に備え付けられているシャトルコンベアで不具合が生じ				30

2018	7	～	たため、被災者がレール脇の手すりから身を乗り出して作業していたところ、シャトルコンベアが動き出し、シャトルコンベアの車輪と手すりに挟まれた。病院に搬送され、治療を受けていたが後日、死亡した。	10901	7	～	49
2018	7	10 ～ 11	コンクリートガラを破碎し、再生砕石を製造するプラントにおいて、ベルトコンベア脇の椅子に座り、コンベア上を流れる砕石から鉄筋等を取り除く作業を行っていた被災者が、突然持ち場を離れ、ベルトの折り返しローラーのあるピットへ降りて行った。その直後、コンベアが停止したため同僚が様子を見に行くと、ローラーおよびベルトの下敷きとなっている被災者を発見した。	10909	7	～	10 ～ 29
2018	5	6 ～ 7	早出で10連自動洗濯乾燥ラインの運転業務を行っていた被災者が、ライン途中に設けられたリフト機能付きコンベアにおいてリフト昇降路フレームとコンベアとの間に挟まれているのが発見され、その後死亡が確認されたもの。	11703	7	～	100 ～ 299
2018	4	8 ～ 9	造船場の事業所第2組立工場内において、被災者は配材・取付作業の準備のため、鋼板搬送用のローラコンベアを始動（下降）させた後、運転中のコンベアを横断していたところ、ローラコンベアと地面との間に頭部を挟まれ死亡したものである。	11501	7	～	1～ 9
2018	3	8 ～ 9	被災者は、自社で所有しているセメント原料破碎設備において、同僚と共に4名で原料破碎設備の始業前の点検作業を行っていた。点検を終えた後、オペレーターがベルトコンベヤー等の可動スイッチを順次入れた際、No3ベルトコンベヤーの電流異常表示が出たため、確認したところ、No3ベルトコンベヤーに頭部を挟まれていた被災者を同僚が発見したものの。	11001	7	～	100 ～ 299
2018	3	12 ～ 13	ベルトコンベヤーを動かしながらローラーに付着した土砂をスコップ（長さ約50cm）を使用して取り除く作業を行っていたところ、ベルトコンベヤーのベルトとローラーの間に挟まれた。	10909	7	～	1～ 9
2018	2	12 ～ 13	生コン製造プラントにおいて、ベルトコンベヤの洗浄作業を行っていた被災者が、昼休みになっても戻らないため、同プラント内を探したところ、ベルトコンベヤと下方のホッパーとの間に挟まっているのを発見された。	10901	7	～	10 ～ 29
		14	鋼板の切断加工を行う工程の鋼材を搬送するコンベアの駆動部分（チェーン&スプロケット）のグリスアップ作業を行ってい				10

2018	2	～	た被災者が、当該駆動部分にはさまれていたところを発見された。救急隊により救出され、病院に搬送されるも死亡したものの。	50202	7	～	29
2018	1	6 ～ 7	立方体の原綿製品（重量：約250kg）の梱包・仕分け工程において、製品を自動で立てるバーが立ち上がった際に、当該バーによって立ち起こされた製品と立入禁止の安全柵との間に被災者が挟まれたもの。	10802	7	50 ～ 99	
2018	1	10 ～ 11	被災者が廃棄物運搬用ベルトコンベアーのベルトコンベアーとローラーとの間に上半身を巻き込まれたもの。被災者はベルトコンベアーのローラー部に詰まった廃棄物を撤去しようとして点検口の鉄製の蓋を開け巻き込まれたものと思われる。	150102	7	1～ 9	
2019	9	8 ～ 10	土砂を運搬するベルトコンベア（傾斜になっているもの）をボタン事務所というベルトコンベアから離れた場所にある所から、ベルトコンベアーの運搬状況を確認していた被災者に、班長が無線で連絡するも、応答がなかった。そこで、班長が、ベルトコンベアを確認しに現地に向かったところ、ベルトコンベアの下部にあるロール部分とベルトとの間に仰向けになって挟まっている被災者を見つけた。	20201	7	10 ～ 29	
2019	8	8 ～ 10	被災者はコンベアに詰まっていた物を除去しようとしたところ、コンベアに胸部を挟まれたもの。	11703	7	100 ～ 299	
2019	8	8 ～ 10	不燃物処理施設に設置されたベルトコンベアの清掃作業を被災者一人で行っていたところ、何らかの原因で運転中のベルトコンベアに左腕を巻き込まれ死亡した。	150103	7	30 ～ 49	
2019	5	12 ～ 14	建材の廃材や樹木等の木材を解体する工程において、被災者がベルトコンベアーのベルト上で補修作業を行っていたところ、約6.2メートルの高さから墜落、7時間後に死亡が確認されたもの。	150102	1	50 ～ 99	

2019	3	6 ～ 8	被災者が工場内に設置されている搬送ラインのコンベア下部に落ちている砂等を掃除していたところ、コンベアの歯車に衣服が巻き込まれ、首が圧迫され窒息したものの。	10909	7	10 ～ 29
2019	2	16 ～ 18	製材工場内の幅裁ち機（木材を所要の幅に切断する設備）から出た端材を運搬するコンベアに、回転軸が突出しており、着衣が引っかかり巻き込まれた。なお、夕方ごろから1人で作業しており、作業開始から3時間後に発見された。	10401	7	1～ 9
2019	2	10 ～ 12	被災者は、コンベアの点検中に、左腕を挟まれて意識がなくなった状態で発見され、搬送された病院で死亡が確認された。	20202	7	10 ～ 29
2019	1	20 ～ 22	被災者は牛舎内において除糞作業に従事していたところ、糞尿を流し込む溝（幅40cm、深さ40cm）に設けられている金属製のスクリーコンベア（径30cm）に右半身を巻き込まれている状態で発見されたもの。当該溝にはすのこ状の覆いが設けられており、通常はすのこから溝に糞尿が落ちるが、冬季は糞尿が凍り、溝に落ちないため、災害発生時には、すのこを外しスコップを用いて糞尿を溝に落とす作業をしていたものである。	70101	7	10 ～ 29
2020	11	6 ～ 8	製糖所の原料の受入及び付着土の除去を行う施設において、被災者を含む労働者2名が分担して原料投入口下の原料運搬用ベルトコンベヤー下の泥の堆積状況の目視点検を行っていたが、被災者が点検から戻らず同僚が被災者の点検場所を確認したところ、同コンベヤーの下部ローラーとベルトの間に右肩を挟まれて意識を失っている被災者を発見し、死亡が確認されたものの。	10109	7	50 ～ 99
2020	11	8 ～ 10	被災者は、碎石プラントののベルトコンベヤーを点検運転しているとき、同コンベヤーテールプーリー部分のベルトからタレゴムがはみ出ているのを見つけて、パイプを使ってタレゴムのはみ出しを直そうと同コンベヤーテールプーリーの傍らで作業していたところ、何らかの理由で同コンベヤー内部に倒れこみ、頭部を挟まれて死亡した。	20201	7	10 ～ 29
2020	11	8 ～	木材チップを運搬するベルトコンベヤーのシャフト（回転軸）に衣服の一部が巻き込まれ、首を絞められた状態のまま心肺停止の状態で見つされたもの。当該ベルトコンベヤー下部周辺に落ちたチップ・木屑を掃除していた際にシャフトに巻き込ま	10402	7	100 ～

		10	れたものと推定される。			299
2020	11	8 ～ 10	リサイクルのためのごみの選別施設において、缶、瓶、ペットボトル等が混在するごみ袋を破いて内容物をコンベヤに流す作業を行っていた被災者が、稼働中のコンベヤの回転軸とベルトの間に身体が巻き込まれたもの。一緒に選別作業を行っていた作業者が巻き込まれた状況に気づき、元スイッチを切ってコンベヤを停止。駆け付けた救急隊がコンベヤのベルトを切断し救出し、病院に搬送されたが死亡が確認された。	150103	7	50 ～ 99
2020	9	12 ～ 14	砕石プラントの異変に気付いた同僚が、不審に思って砕石投入用ホッパー下部のベルトコンベヤー付近に駆け付けたところ、当該ベルトコンベヤーのベルトとローラーの間に巻き込まれている被災者を発見した。その後、約3.5時間後に被災者を救出し、医療機関へ搬送するも死亡が確認されたもの。	20201	7	1～ 9
2020	7	8 ～ 10	被災者は、コンクリートガラのリサイクル設備（1次クラッシャー）のコンベヤーの下に巻き込まれた状態で発見されたもの。	150102	7	100 ～ 299
2020	7	14 ～ 16	工場内木釜（きがま）室にあるエレベータコンベアにてチップが詰まって機械に不具合が生じたため、被災者は、コンベア内でチップを取り除く作業をしていた。被災者は機械を停止して作業を行っていたが、突然コンベアが動き出し、被災者がコンベアとプーリーの間に挟まれた。	10601	7	30 ～ 49
2020	6	10 ～ 12	遺跡発掘調査現場において、被災者は発掘作業から離れベルトコンベアのフレームの上に別のベルトコンベアを載せて繋げていた箇所付近にて、当該ベルトコンベアからこぼれ落ちた土をベルトコンベアに載せていたところ、ベルトコンベアが脱落して被災者の背にのしかかり頸椎骨折を負ったもの。後日入院先医療機関において頸椎骨折を主原因として発症した小脳梗塞により死亡した。	120109	4	50 ～ 99
2020	5	12 ～ 14	肉豚舎において、糞尿を排出するスクリュウコンベヤーに被災者の両足が挟まっている状態で発見され、出血性ショックにより、同日死亡した。	70101	7	1～ 9

2020	4	14 ～ 16	被災者は、タケノコの皮脱水機及びタケノコの皮投入ベルトコンベアの修理、調整が終了し、通常の稼働状況を確認中、タケノコ皮脱水機のスクリーコンベアに身体を巻き込まれた。	11301	7	1～ 9
2020	2	14 ～ 16	ベルトコンベヤーから流れてくるコンクリートガラ中のプラスチックごみを取り除く作業を行っていた被災者が、ベルトコンベヤーのプーリー付近で頭部から出血して倒れているところを同僚に発見されたもの。災害時の目撃者はいないが、頭部、腕、肩等を骨折しており、回転中のプーリー又は回転中のベルトとホッパーとの隙間に巻き込まれたものと推定される。	150102	7	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html